

## 週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分  
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年						2025年														
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 ～7日	12月 ～14日	12月 ～21日	12月 ～28日
カンピロバクター	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	6	7	1 (5)	0
病原性大腸菌	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	13	23	9 (15)	1
腸管出血性大腸菌	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	2	3	1 (7)	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	4	4	1 (4)	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0
ノロウイルス	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	0	0	1	0

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)  
感染症週報

令和7年第52週(12月22日~12月28日)

## 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1		4		3		
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1							1
四類	1	A型肝炎	1					1		
五類	20	侵襲性肺炎球菌感染症	3			1		1		1
		梅毒	5	1				3		1
		百日咳	12	1	1	1		2	1	6

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

# 週報③

## 広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年52週(12月22日～12月28日)

### ■コメント

#### 1 インフルエンザ

定点当たり22.77人の報告があり、減少傾向ですが多い状況です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が20件報告されました。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)  
第52週 A型:119人、B型:9人

#### 2 感染性胃腸炎

定点当たり3.82人の報告がありました。

#### 3 梅毒

3件の報告があり、今年の累計は149件となりました。過去最多の報告があった2022年以降は減少傾向ですが、2021年までと比べて多い状況が続いています。

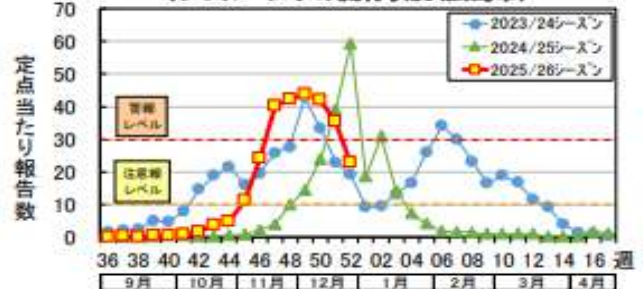
梅毒検査(無料・匿名、要予約)

広島市の各区保健センターでは、HIV(エイズ)検査とあわせて、梅毒の検査を実施しています。

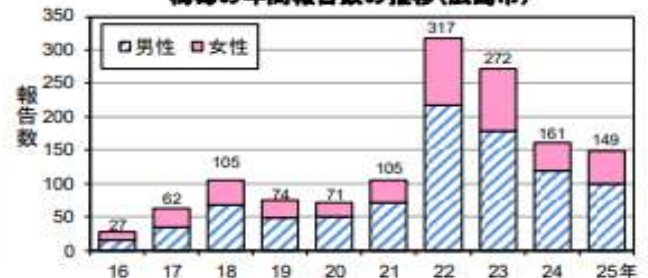
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1022986.html>



インフルエンザの流行状況(広島市)



梅毒の年間報告数の推移(広島市)



### ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2661	76.03		→	小児科	突発性発しん	5	0.23	0.15	
	インフルエンザ	797	22.77	15.81	→		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.22	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	16	0.46		→		流行性耳下腺炎	-	-	0.02	
小児科	RSウイルス感染症	19	0.86	0.09	→	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	7	0.32	1.12	→		流行性角結膜炎	8	1.00	0.68	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	62	2.82	1.26	→	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	84	3.82	5.34	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	5	0.23	0.16	→		マイコプラズマ肺炎	12	2.00	1.13	
	手足口病	6	0.27	0.57	→		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	2	0.09	0.05	→		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	→	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	35
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

### ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	119	10歳未満・1人、80歳代・2人
4	A型肝炎	1	6	80歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	29	10歳未満
5	梅毒	3	149	30歳代・2人、50歳代・1人
5	百日咳	2	1034	50歳代・2人